

岡山理科大学通信教育部情報理工学部履修規程

(趣旨)

第1条 岡山理科大学通信教育部情報理工学部履修規程（以下、「本規程」という。）は、岡山理科大学学則（以下、「学則」という。）第29条第4項に基づき、通信教育部情報理工学部において開設する授業科目、単位数及び履修方法等について、必要な事項を定める。

(授業科目の履修)

第2条 授業科目は、配当された年次において履修するものとする。ただし、配当年次以上の年次においては履修することを妨げない。

- 2 既に単位を取得した授業科目は履修することができない。
- 3 各学期の履修登録・訂正期間終了後は、特別の理由がない限り、履修科目の変更及び追加を認めない。

(履修登録単位数の上限)

第3条 履修登録単位数の上限は、各学期に22単位とする。

- 2 前項の定めにかかわらず、前年度（秋入学者においては、前年度秋学期と当年度春学期）の取得単位数が30単位以上、かつ前年度（秋入学者においては、前年度秋学期と当年度春学期）Grade Point Average（以下「GPA」という。）が3.0以上の者に対しては、各学期24単位まで履修を認める。

(進級条件)

第4条 3年次から4年次に進級する際は、次の進級判定基準を満たすものとする。

学科	修得単位数			条件
	基盤教育 科目	専門教育 科目	合計	
情報理工学科	—	—	102	外国語系科目は卒業要件を満たす4単位を修得すること。 3年次までの専門教育科目の必修科目10単位すべてを修得すること。

(卒業要件)

第5条 学則第33条に基づき、本大学に4年以上在学し、岡山理科大学通信教育部規程第7条別表Iに定める必修科目をすべて修得した上で、次に示す科目区分ごとに定める単位数を満たし、合計124単位以上修得した者に対し、卒業を認定する。

科目区分	修得すべき単位数	合計
基盤教育科目	34以上	124以上
専門教育科目	80以上	

- 2 前項の基盤教育科目は、外国語系科目において、母語が日本語の者は英語科目から4単位、母語が日本語でない者は日本語科目から4単位を修得すること。
- 3 第1項の専門教育科目は、コンピュータサイエンス科目から「ネットワークプログラミング」「データベースプログラミング」「データ構造とアルゴリズム」を6単位、又はAI・データサイエンス科目の「AI概論」「AIプログラミング1」「データサイエンス」を6単位、又はデジタルゲーム・メディア科目から「ゲームプログラミング」「Webデザインプログラミング」「ゲームメカニクス」を6単位修得すること。

(履修条件)

第6条 履修の条件は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 基盤教育科目の外国語系科目は、母語が日本語の者は、日本語科目を履修することはできない。また、母語が英語の者は、英語科目を履修することはできない。
- (2) 専門教育科目の共通科目「情報理工学セミナー1」を履修する者は、基盤教育科目及び専門教育科目の単位を102単位以上修得し、3年次までの必修科目をすべて修得済みであること。
- (3) 専門教育科目の共通科目「情報理工学セミナー1」の単位を修得していなければ、「情報理工学セミナー2」を履修することができない。

(改廃)

第7条 本規程の改廃は、通信教育部情報理工学部教授会及び大学協議会の審議を経て、学長が決定する。

附 則 (令和7年1月22日 第10回大学協議会)
この規程は、令和7年4月1日から施行する。